

三里塚・ジェット闘争貫徹！'79春斗勝利！ 地本防犯青年行動隊を結成



日刊 動労千葉

1979, 1, 10

No. 3

国鉄動力車労働組合

千葉地方本部

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二二五八〜九(公衆)〇増三二二二〇七

1/9 会場埋め尽くす2100名の青年部員、一月総決起を宣言！

全ての青年部員の皆さん！一四〇〇全組合員の皆さん！
千葉地本の正義を正義として貫き通し、動労の真の階級的民主的発展を勝ちとる最大の軸が遂にうち立てられた。昨日(1/9)教育会館会場を埋め尽くした全11支部・255名の青年部員は、「ジェット貫徹・地本防衛」の烈々たる気迫のもと青年行動隊結成・一月総決起の宣言を發した。一〇年にわたってくりかえされた動労内革マル分子による暴力テロ路線の全面開花・動労私物化策動、さらには「三里塚を闘う」が故の理不尽極まる統制処分に一四〇〇の怒りの総決起が開されたのである。

一時十五分、「三里塚・ジェット闘争に勝利するぞ！」「千葉地本破壊を許さないぞ！」「……全員総立ちのシユプレヒコールが会場をどろろかし、正面を飾る真紅の青年部旗と並ぶ行動隊旗を背に、力強い開会宣言。吉野青年部長のあいさつにつづき、地本斗争委員会を代表した西森副委員長の激励のあいさつをうけ、全体で確認。

「職をかけても、千葉へ……」(支援共闘)
つづいて、かけつけた闘う労農諸団体からの連帯と共闘のあいさつをうける。「正義は必ずや人民を決起させ歴史を動かす」「家族ぐるみ決起が必ず勝利を拓く」「自分の職をかけてでも千葉にはせ参じ、共に闘う」等々、熱烈なアピールが發せられ、満場の拍手で確認された。

地本青年部常任委員会を代表しての田中青年部書記長の基調報告は、青行隊の任務と意義を三点に絞って力強く提起した。

提起された青行隊三つの任務

- ① 理不尽な反動的暴力路線から千葉地本の組織と闘いを守りぬき、地本―支部(職場)への革マルの敵対を粉碎すること。
- ② 労農連帯・ジェット闘争勝利、七九春闘勝利、一四〇〇組合員とその家族の生活と権利を守りぬく全ての闘いの先陣を担い、団結の主軸となって奮闘すること。
- ③ その闘いの勝利を通じて、動労の真の発展、日本労働運動の八〇年代へむけての戦闘的再編の道をこじあげ、牽引すること。

1・16地本団結旗びらきに、家族ともども根こそぎ決起をかちとろう！



北総・南総・総部・津田沼ブロックの順に、全支部の青行隊長が決意を表明

一四〇〇が総決起するならば、勝利は確実である！

この基調をうけ、司会の江沢常任(勝浦支部)の「われわれ青年部四二八名は、本日ここに歴史的な青行隊を結成した。動労内革マルと闘う各支部青行隊長は、全員登壇して下さい！」との呼びかけ、ワーンという大歓声と拍手の中、ナッパ服とヘルに身を固めたわが青行隊の最精鋭二二名がズラリと登壇。各々、力強い決意表明を行った。

全ての組合員の皆さん！青年部の諸君！一月地本防衛決戦は、ここに堂々と切っておとされた！十年來の動労の良心を担い、三里塚・ジェット闘争を支えるわが千葉地本の歴史的勝利は明白である。一四〇〇と全家族がガンチリと団結し、青行隊が不拔の戦闘性でその先陣を担うならば、勝利は確実だ。

1・9の圧倒的勝利をひきつぎ拡大し、更なる決起へ